

治水事業

事業の概要

十勝川は、その源を大雪山系の十勝岳に発し、山間峡谷を流れ、十勝平野に入り、広大な畑作地帯を流下しながら、人口・資産が集積し、流域最大の市街地である帯広市に入ります。その後、急勾配である音更川及び札内川、利別川等を合わせ、低平地に広がる畑作地帯を流下し、豊頃町において太平洋に注ぐ、幹線流路延長156km(全国17位)、流域面積9,010km²(全国6位)の一級河川です。

十勝川流域は、大雪山国立公園をはじめとして、針葉樹林や針広混合林、湿原群落等の植物相が形成され、河川は、サケの遡上やシシャモの産卵といった魚類の繁殖の場となっています。

十勝川水系では、「強靱で持続可能な国土」の形成を目標に、流域で暮らす人々の安全・安心を確保するとともに、農林水産業・観光等を担う「生産空間」を支えるため、多様な動植物が息息・生育する自然との調和を図りつつ、以下の各事業を推進します。

また、気候変動の影響により激甚化・頻発化する災害に対応するため、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の推進、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を重点的、かつ集中的に対策を講じ、強靱な国土づくりに取り組みます。

十勝川水系流域治水プロジェクト

気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、河川・下水道管理者等が行う治水対策に加え、あらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」の推進に向けて、流域全体で早急を実施すべき対策(①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)の全体像をとりまとめた「十勝川水系流域治水プロジェクト」に基づき、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速していきます。

河川事業

十勝川流域では、令和5年3月に変更した「十勝川水系河川整備計画」に基づき、洪水を安全に流下させることができるよう、堤防等の整備や河道の掘削、堤防強化対策、侵食対策などの治水対策や、既存ダムの有効活用に向けた調査・検討を計画的に進めています。

また、堤防や樋門などの河川管理施設の機能を維持するため、堤防の除草や点検、樋門の整備などの維持管理を行うとともに、防災インフラの管理の効率化・高度化と予防保全(老朽化対策)を行っていきます。

砂防事業・大規模土砂災害への取組

戸蔭別川では、洪水時における土砂・流木の流出による災害を未然に防止するため、土砂流出の抑制・調節を図る砂防堰堤及び床固工群の整備を行っており、今年度も整備を推進します。

大規模土砂災害への取組として、河道閉塞や雌阿寒岳、十勝岳の火山噴火に起因する土砂災害への危機管理対策や、地域への災害情報の周知、避難支援に関する対応の充実を図ります。

ダム事業

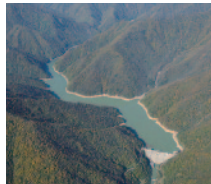
十勝川上流の十勝ダムは、洪水調節と発電を目的として、昭和59年に完成した多目的ダムです。また、札内川上流の札内川ダムは、洪水調節と水道・農業用水の供給及び発電等を目的として、平成10年に完成した多目的ダムです。

治水・利水機能を確保するためのダム管理に必要な施設の点検整備、観測・操作、流木処理などを行い、管理の充実を図ります。また、札内川ダムでは、放流能力増強等について、調査・検討を行います。



■十勝ダムの施設概要

高さ	84.3m
長さ	443m
体積	3,715,000m ³
総貯水容量	112,000,000m ³
貯水面積	4.2km ²
ダムの集水面積	592km ²
ダム型式	中央コア型 ロックフィルダム



■札内川ダムの施設概要

高さ	114m
長さ	300m
体積	770,000m ³
総貯水容量	54,000,000m ³
貯水面積	1.7km ²
ダムの集水面積	117.7km ²
ダム型式	重力式 コンクリートダム

かわたび
ほっかいどう
KAWATABI HOKKAIDO

北海道総合開発計画のもと、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進しています。

水辺でのホーストレッキングを情報発信

伐採木をおびひろ動物園でエサとして活用

国土交通省
川の防災情報
"気象"×"水害・土砂災害"
情報マルチモニタ



河道掘削土を活用した一時避難場所の造成(豊頃町)



河道掘削(利別川)



戸蔭別川第4号砂防堰堤(建設中)

令和5年度 治水事業の概要

事業別	地区別等	事務所等	事業の概要
河川整備事業	河川改修	十勝川中流、音更川、札内川、利別川等	帯広河川事務所 河道掘削、侵食対策、水防拠点等
	河川維持修繕	十勝川下流、利別川等	池田河川事務所 河道掘削、水防拠点等
	河川工作物関連 応急対策	十勝川水系	帯広河川事務所 池田河川事務所 堤防管理、水閘門等維持管理、樹木伐採、河川巡視、施設点検等
	河川工作物関連 応急対策	十勝川水系	池田河川事務所 水閘門等の応急対策等
堤防事業	堤防維持	十勝ダム	帯広河川事務所 十勝ダム管理支所 施設点検・補修、設備更新等
	堤防改良	札内川ダム	帯広河川事務所 札内川ダム管理支所 施設点検・補修、設備更新等
	堤防改良	札内川ダム	帯広河川事務所 地形・地質調査 事業計画検討等
砂防事業	砂防事業	十勝川水系(戸蔭別川)	帯広河川事務所 砂防堰堤等

都市水環境整備事業

十勝川流域では、良好な河川環境、景観を保全するための取組を行っています。

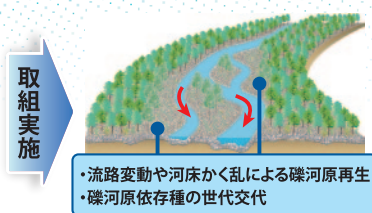
特に札内川は、近年、河道内の樹林化が著しく、かつて河道内で広く見られた礫河原(れきがわら)が急速に減少しており、氷河期の遺存種であるケショウヤナギの生育環境の衰退が懸念されています。一方、渡り鳥の繁殖地である礫河原は、十勝川水系の河川性鳥類の生息地としても重要なものとなっています。

このため、ケショウヤナギの生育環境の保全に加え、札内川特有の河川環境・景観を保全するため、流路変動などの河川のかく乱を復活させる取組を行い、礫河原の再生や川の更新環境の回復を図ります。

また、十勝川流域では、良好なまちと水辺が融合した空間形成の推進を目的に、「かわまちづくり支援制度」を活用し、観光客等の利便性向上や地域の観光の促進を図り、地域活性化を目指します。



河道内の樹林化後の状況(平成22年撮影)



取組実施
・流路変動や河床かく乱による礫河原再生
・礫河原依存種の世代交代

令和5年度 都市水環境整備事業の概要

事業区分等	地区別等	事務所等	事業の概要
総合水系環境整備事業	十勝川水系札内川	帯広河川事務所	自然再生 帯広市、幕別町、中札内村
	十勝川水系十勝川	帯広河川事務所	水辺整備(かわまち)帯広市
	十勝川水系十勝川	帯広河川事務所、池田河川事務所	水辺整備(かわまち) 音更町、池田町、幕別町